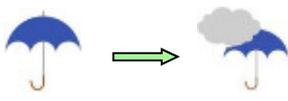
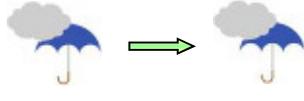
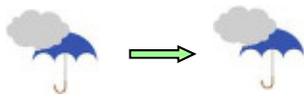
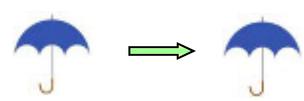
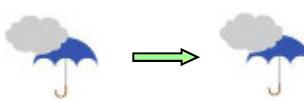


【産業動向概要】

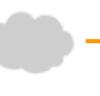
産業全体 	<p>5月を中心とした県内経済は、輸出は回復の兆しがでてきたものの依然、弱めの動きが続き、生産活動も横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は厳しさが和らいできており、個人消費は一部持ち直しに向けた動きが窺われる。県内経済は海外経済の減速や円高などにより足踏み状態となっている。</p>		
観光・旅館業 			<p>ゴールデンウィークの伊豆地区の宿泊客数は、熱海や伊東では震災後に増加した前年同期の反動から前年比減少となったが、一昨年比では増加。他の地域では概ね前年並みとみられる。観光施設への入り込みも前年並みか若干の減少程度とみられる。</p>
紙類 			<p>県内メーカーが生産する再生紙物トイレトペーパーの需要は引き続き低調、在庫の増加基調も継続。輸入品の増加により、さらなる市況の軟化も懸念される。段ボール原紙は需要がやや後退、市況に不透明感が出ている。</p>
水産業 			<p>2012年2月～4月の主要漁港全体の水揚量は前年比4.3%増。うち焼津港の水揚量は、マグロ類が大幅に増加したものの、主要魚種であるカツオ類の減少により全体では前年比▲2.7%減。一方魚価はカツオ類、アジ類が単価を上げ、全体の平均単価は前年比22.2%上昇した。</p>
一般機械（主要） 			<p>金属工作機械は昨年11月以降6ヵ月連続して対前年比プラスと好調さが続くが、今後は外需の先行きに弱気な見方が広がっている。一方、金型は今年に入り足踏み状態が続く。当面は欧州経済危機再燃懸念や円高、また電力供給制限などから先行き不透明感が続く。</p>
木材 			<p>全国、県内とも新設住宅着工は増加傾向に転じているが、在来工法中心の中小ビルダーの受注減から国産製材品需要は低調で、製材品の県内生産量は減少傾向が続く。また製材品価格も弱含みで推移。</p>
缶詰 			<p>水産缶は主力のツナ缶の生産量が3月以降マイナスが続き、加えてキハダマグロ等の原料魚の価格高騰でメーカーの採算は厳しさを増している。農畜産、飲料缶類の生産量も3四半期連続で減少している。</p>
楽器 			<p>主力のピアノは、生産台数は前期実績を上回ったが、販売台数は輸出の減少により同実績を下回る構図に変化はなく推移した。電気・電子ピアノは、生産台数、販売台数ともに順調に推移。電子オルガンは、販売が一時期の不安定さが再表面化。電子キーボードは生産量が大幅にダウン増加。</p>
	家庭紙 	板紙 	
	金属工作機械 	金型 	
	水産缶詰 	農畜産缶 	
	飲料缶類 		
	ピアノ 	電子楽器類 	

輸 送 用 機 器			遠州地域の二輪車生産台数は国内向け、輸出向けともに前年実績を上回り堅調に推移。また自動車部品生産金額（県内）も好調な自動車販売に支えられ、11ヵ月連続で前年を上回って推移している。しかし円高の定着化で、自動車メーカーに国内生産の縮小、輸入部品の採用拡大の動きが広がっており、部品メーカーの先行きに不透明感が広がっている。
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	10/4 (10/6)	10/7 (10/9)	10/10 (10/12)	11/1 (11/3)	11/4 (11/7)	11/8 (11/10)	11/11 (12/1)	12/1 (12/4)	12/5 (12/7)	
概況 		→								
観光・旅館業 		→			→					
紙類 		→			→					
水産 		→						→		
一般機械(主要) 		→				→				
木材 		→								
缶詰 		→								
楽器 		→				 				
輸送用機器 		→				 		→		